

江戸バスの抱える課題と今後の検討方針

江戸バス導入の基本方針に関して		具体的な課題			
基本方針	達成状況・課題	検討事項	課題・ニーズ	対応方針	実施・検討時期
<p><方針1> 施設へのアクセスを充実することにより、利便性の向上を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中央区内の主要な施設をつなぐ機関として、利用者に満足いただいている。 今後も区民ニーズを踏まえたルートの見直し等を行う。 	ダイヤ ・乗継ぎ時間	<ul style="list-style-type: none"> 中央区役所での乗り継ぎ時間が長い 	<ul style="list-style-type: none"> 南循環の運行ルートを変更し、新富二丁目での南循環と北循環の乗り継ぎを可能とすることで、南循環から北循環への乗り継ぎ時間を短縮する。 	H24.7（予定）
			運行時間	<ul style="list-style-type: none"> 最終便の運行時間をもう少し遅くする 	<ul style="list-style-type: none"> 利用実態の詳細を分析した上で、必要性や経費等を考慮して今後も検討する。
		系統	<ul style="list-style-type: none"> 逆廻りルートの運行 ループの大きさの検討（系統見直し） 南北ルートを横断するルート 	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況やそれに伴う総収支額の整理を引き続き行い、逆廻りでの運行と系統の見直しの双方について、効率性や利便性を分析し、長期的に検討する。 	長期
			運行ルート	<ul style="list-style-type: none"> 中洲から聖路加国際病院へ1本でつなぐルート 勝どき周辺から日本橋、浜町へアクセスするルート 呉服橋から日銀の間を三越のにんべんの通りに右折 新川二丁目でも乗り継ぎ可能となるルート（現在は乗り継ぎ券を発行） 湊から銀座にアクセスできるルート 銀座方面までルート延伸（昭和通り東銀座など） 	<ul style="list-style-type: none"> 新規ルートについては、逆廻りや系統の見直しとあわせてその可能性を検討する。 利用者が増加傾向にあることや、駅への接続の良さなどから、継続して利用者数の推移を把握し検討する。 大幅なルート変更を伴うため、長期的に取り組む項目とする。
		<ul style="list-style-type: none"> ほっとプラザはるみへのアクセス 		<ul style="list-style-type: none"> 環状2号線建設工事の状況を踏まえながら検討する。 	中期
		<ul style="list-style-type: none"> もんじゃ街バス停の再検討 		<ul style="list-style-type: none"> バス停設置に向けて、引き続き地元との調整をする。 	中期
		<ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅と接続するバス停はバス停名称を「○○駅」とする。（もしくは車内アナウンスなどの対応） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設名との併記や車内アナウンスなどの対応を検討する。 	中期
		バス停	<ul style="list-style-type: none"> バス停の向きが道路に対して平行にたっている バス停の位置がわかりにくい バス停に屋根やベンチを設置してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 【今年度対応】 ○平成23年度、25箇所のバス停に対応する。 	H24.3（予定）
				<ul style="list-style-type: none"> バス停屋根については、道路状況等を考慮して検討する。 	中期
				<ul style="list-style-type: none"> 【今年度対応】 ○ベンチについては、平成23年度、5箇所のバス停へ設置。 	H24.3（予定）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 中央区のイベント実施時に、最寄りの鉄道駅や会場までの経路を増便するなど、柔軟に対応すること 	<ul style="list-style-type: none"> 認可外の路線を運行することが認められていないため、現運行ルートの中でイベントとの連携を今後検討する。 	—		
<p><方針2> 区内の交通不便エリアを連絡し既存公共交通と連結することにより、公共交通サービスを補完し、充実を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通不便エリアの解消に寄与している。 他の公共交通との連携しつつ、公共交通の利便性の向上を図る。 				
<p><方針3> 高齢者など昼間居住者や区外からの来街者の移動の利便性を改善する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の移動利便性については、一定の評価がされている。 今後は、来街者等でもわかりやすく、利用しやすいような工夫を行っていく必要がある。 				
<p><方針4> 高齢者等の健康維持、地域コミュニティの活性化、商業観光の振興に貢献する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単に江戸バスを利用するだけでなく、地域の賑わいの向上を図るための施策の検討を行う。 				
<p><方針5> 地域の足となるよう、区民が愛着を持ち支えていく交通とする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現在の利用者の今後の利用意向は高いが、非利用者が多く存在しており、非利用者の利用促進が必要である。 				